

◆ はじめに

抗がん剤や放射線照射等、がん治療での副作用によって卵巣機能が低下し、閉経することがあります。閉経してしまったときのために、未婚の方の場合は卵子、既婚の方の場合は受精卵を凍結保存することが出来ます。

◆ 当院の方針

原疾患の治療が最優先と考えておりますので、がん治療を延長して行う採卵は行っておりません。

◆ 受診の前に

採卵をご希望の方は 03-3366-3777 にお電話いただき、採卵希望のがん患者様であることをお伝えください。患者様の健康状態や、未婚の方で当院での採卵は困難であると判断した場合等、お受け出来ないこともあります。

◆ ご来院時の持ち物

健康保険証、写真付き身分証明証（運転免許証、パスポート等）、※ 紹介状（診療情報提供書）

※ こちらは当院ホームページよりダウンロードしていただき、原疾患主治医の先生にお渡しください。原疾患治療病院の様式でのご紹介状をお持ちいただいても問題ありませんが、次の内容を含み作成をお願い致します。

【①原疾患名、②手術日（予定日を含む）、③放射線治療開始予定日、④化学療法開始予定日、⑤ホルモン受容体の有無、⑥排卵誘発剤およびホルモン剤使用の可否、⑦採卵可能な全身状態であるか否か】

◆ 卵子の採取（採卵）

採卵周期ではまず月経3日目に受診していただきます。採卵までには平均して4~5回の通院が必要で、約1ヶ月に1回採卵することが出来ます。卵巣刺激方法については紹介状をもとに外来担当医師の判断で決定しますので、使用可能薬剤の記載があっても自然周期での採卵となる場合があります。採卵は膈から超音波装置で卵巣を観察しながら針を卵巣に穿刺し、卵子を回収します。当院では静脈麻酔下の採卵は行っていないですが、非常に細い針を使用しますので、出血はほとんど起こりません。平均して1~2個の卵子を回収することが出来ますが、採れないこともあります。

◆ 治療成績

凍結保存した卵子からは、海外のデータを含めて1000名以上の出産報告があり、日本でも2001年に初めての報告がありました。未受精卵の妊娠率は7~10%、受精卵の妊娠率は20~30%と報告されており、当院もほぼ同様の成績です。

◆ 卵子保管の期限

43歳以下の患者様が卵子保存の対象です。保管期間は50歳の誕生日までです。

◆ 費用

自費診療です。初診に必要な費用は約5万円です。初回の採卵では約40万円、2回目以降は約30万円ですが、費用の詳細については受診時に受付職員にご確認ください。クレジットカード決済も可能です。